

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立白河第二中学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、生徒の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合って、家庭生活の見直しに役立ててくださいようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえばできている	どちらかといえばできていない	できっていない
中	全 国	27.4	50.1	19.2	2.8
3	白二中	31.2	47.1	21.0	0.7

(単位 %)

【考 察】

- 「できている」「どちらかといえばできている」生徒の割合が78.3%と全国平均を上回っています。今後も学校では、生徒が自分で目的をもって学習できるような環境づくりと家庭との連携を強化する取組を図ります。
- 「どちらかといえばできていない」「できていない」という生徒が21.7%います。自分で学び方を考え工夫するのが苦手な生徒には、まずは基本的な学習計画の立て方や調べ方の具体例を示すことが重要です。教員が学習の進め方を細かく示し、段階ごとに支援することで主体的に学習する土台を作っていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
中	全 国	9.9	20.9	30.8	19.1	11.3	7.7
3	白二中	6.5	14.5	44.9	28.3	4.3	1.4

(単位 %)

【考 察】

- 平日の学習時間が1時間未満の生徒が34.0%と高い数値になっています。「週間予定表や計画表の作成」「スキマ時間の活用」「勉強する場所や環境の工夫」「科目や内容ごとに時間を区切る」「勉強時間の可視化」「小さな達成感の積み重ね」など自分にあった学習環境や方法を見つけ、家庭学習の充実が図れるよう指導を続けて参ります。
- 部活動を引退し、その時間を学習に充てられる生徒が増えるので、家庭学習の重要性を再確認し、自己実現が図れるよう支援します。ご家庭でも励ましの声かけなどをお願いいたします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	23.0	50.4	21.3	3.7
3	白二中	27.5	52.9	18.1	1.4

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の生徒の割合が80%を超え、全国平均を上回っています。授業での学習内容の振り返りにより、自分自身で学習内容を決め、主体的に取り組んだ成果が表れています。
- 「振り返る活動」により力を入れて指導することで、自分にどのような知識・技能が身につき、どのような思考力、判断力、表現力が育ったかを確認することができるようになります。生徒に何を学んだかを実感させるとともに、学習内容を確実に身につけさせられるよう努めています。

4 (学校選択項目) あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
中	全 国	31.8	44.8	17.7	4.7
3	白二中	23.9	42.0	27.5	6.5

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒の割合が7割に達しておらず、全国平均を下回っています。総合的な学習の時間など、学年・学級同士で良かった点・改善点をフィードバックし合う場を設け、スライドで発表を行う活動をとおして、スキルアップを目指しています。
- 各教科の発表課題や調べ学習を活用し、グループで資料を作成・発表する機会を多く設け、他教科とも連携しながら、ICTの活用場面を広げることで実践力を養っていきます。